

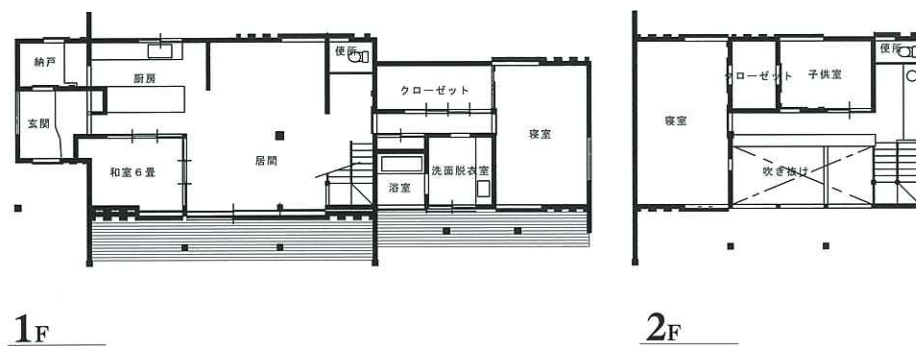
久宮・土壁の家

設計者/工作舎
施工者/株式会社津久井工務店

設計趣旨 CONCEPT

敷地周辺は新しい住宅が少しずつ増えているが、まだまだ畑も多く残る静かな環境です。比較的広い敷地に夫婦、子供、両親の3世代家族が『気持ちよく暮らす事が出来る距離感と広さ』が重要と考えました。人と人、物と人、外と内など全ての距離感と広さをバランスよく敷地に納める事がテーマとなっています。敷地北に住居棟、西道路側に風よけと目隠しの役割を持たせた物置棟を配し、ある程度プライバシーが守られた庭を確保、物置棟の北を駐車スペースとアプローチとし、目隠し塀を回り込みながら玄関に入る、2階へ繋がる吹き抜けと小上がりの和室を備えた開放的な居間、南に広めのデッキを設け、水廻りを挟んで、東端に両親寝室と全て庭に面して配置、2階に吹き抜けを介して子供室、寝室としました。庭の畑で両親が野菜を作る。深い軒下のデッキに腰掛け庭を駆け回る子供を見守る夫婦と両親、庭でとれたスイカをみんなで食す。そんな家族の暮らしを想像します。建物としても永く住める家をコンセプトにし、構造材の仕口や継ぎ手、小舞土壁、木製建具など伝統的な技を現代住宅に無理なく取り込みました。

平面図



大前田の家

設計者/有限会社アーキテク・デザイン
施工者/株式会社津久井工務店

設計趣旨 CONCEPT

奥様の生まれ育った土地の一部を譲り受けて造った住まいです。敷地は北側に赤城山を背負い、田畑が広がる古くからの民家の点在する地域の一角です。

共働きのご夫婦が要望された条件は、ゆったり子育てができる平屋の家を無垢材をはじめ自然素材で造りたい。赤城山を家事をする台所や食堂から眺められる間取り。家事動線をバックの動線にして表に出ないで済むように造りたいなどの要望に対して、東と南側に、陽射しをコントロールする深い軒を持つ切り妻屋根をかけた長方形のプランで計画しました。中央にガラス屋根のあるウッドデッキ、浴室東にバスコート、玄関隣に勝手口やうち玄関など、半外部的要素の空間を取り込むことで単純プランが変化ある空間になり、潤いやゆとりスペースになるように計画しました。

無垢材を大工さんの手刻み、手組みで造り、左官屋さんの内外壁、ポーチ玄関も左官仕上げ。昔から言われる大工さんが造る住まい。100%手造りの住まいづくりが実現しました。

左官材の漆喰と無垢材で夏の湿度調整(調湿)と外通気、天井裏通気と高密度断熱、深い軒の出で陽射しのパッシブな利用と制御で緩やかな省エネ型のサステナブルな住まいになっています。

平面図

